

取扱説明書

昭和ファンコイルユニット N2V・CX・V シリーズ

このたびは昭和ファンコイルユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
なお、この「取扱説明書」は標準仕様品について記載してあります。特殊仕様品については製品の細部が若干異なる場合があります。

(露出型)



上吹出型

CF- 11N ₂ V
CF- 21N ₂ V
CF- 31N ₂ V
CF- 42N ₂ V
CF- 62N ₂ V
CF- 84N ₂ V
CF-124N ₂ V

前吹出型



CF- 11N ₂ V
CF- 21N ₂ V
CF- 31N ₂ V
CF- 42N ₂ V
CF- 62N ₂ V
CF- 84N ₂ V
CF-124N ₂ V

ローボイ型



CFL- 11N ₂ V
CFL- 21N ₂ V
CFL- 31N ₂ V
CFL- 42N ₂ V
CFL- 62N ₂ V
CFL- 84N ₂ V
CFL-124N ₂ V

(隠ぺい型)



上吹出型

CFR- 11N ₂ V
CFR- 21N ₂ V
CFR- 31N ₂ V
CFR- 42N ₂ V
CFR- 62N ₂ V
CFR- 84N ₂ V
CFR-124N ₂ V

(露出型)



後吸込形

CS- 11N ₂ V
CS- 21N ₂ V
CS- 31N ₂ V
CS- 42N ₂ V
CS- 62N ₂ V
CS- 84N ₂ V
CS-124N ₂ V

(隠ぺい型)



吸込側開放形

CSR- 11N ₂ V
CSR- 21N ₂ V
CSR- 31N ₂ V
CSR- 42N ₂ V
CSR- 62N ₂ V
CSR- 84N ₂ V
CSR-124N ₂ V

ローボイ型

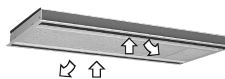
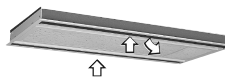
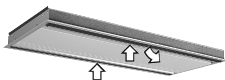
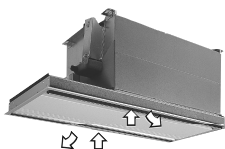
CFRL- 11N ₂ V
CFRL- 21N ₂ V
CFRL- 31N ₂ V
CFRL- 42N ₂ V
CFRL- 62N ₂ V
CFRL- 84N ₂ V
CFRL-124N ₂ V

下吸込形

CS- 11N ₂ V
CS- 21N ₂ V
CS- 31N ₂ V
CS- 42N ₂ V
CS- 62N ₂ V
CS- 84N ₂ V
CS-124N ₂ V

ダクト接続形

CSRD- 11N ₂ V
CSRD- 21N ₂ V
CSRD- 31N ₂ V
CSRD- 42N ₂ V
CSRD- 62N ₂ V
CSRD- 84N ₂ V
CSRD-124N ₂ V

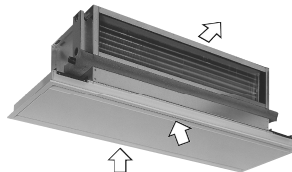


(天吊カセット形)

二方向吹出形	一方向吹出形
CSR-CX 21V	CSR-CXM 21V
CSR-CX 31V	CSR-CXM 31V
CSR-CX 42V	CSR-CXM 42V
CSR-CX 62V	CSR-CXM 62V
CSR-CX 83V	CSR-CXM 83V
CSR-CX124V	CSR-CXM124V

(天吊カセット天井材組込形)

二方向吹出形	一方向吹出形
CSR-CXE 21V	CSR-CXT 21V
CSR-CXE 31V	CSR-CXT 31V
CSR-CXE 42V	CSR-CXT 42V
CSR-CXE 62V	CSR-CXT 62V
CSR-CXE 83V	CSR-CXT 83V
CSR-CXE124V	CSR-CXT124V



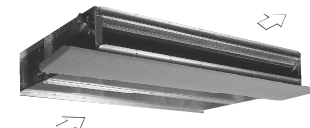
(ビルトイン形)

CSBR- 11N ₂ V
CSBR- 21N ₂ V
CSBR- 31N ₂ V
CSBR- 42N ₂ V
CSBR- 62N ₂ V
CSBR- 84N ₂ V
CSBR-124N ₂ V

(天井埋込ブースタファン組込形)

中性能フィルタ組込形

CSBF- 22N ₂ V
CSBF- 32N ₂ V
CSBF- 44N ₂ V
CSBF- 64N ₂ V
CSBF- 88N ₂ V
CSBF-128N ₂ V



フィルタ不付形

CSBF- 22N ₂ V
CSBF- 32N ₂ V
CSBF- 44N ₂ V
CSBF- 64N ₂ V
CSBF- 88N ₂ V
CSBF-128N ₂ V

1. 安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

この取扱説明書は、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●安全についてのインフォメーション

●この取扱説明書の中に示した注意事項は、「 警告」、「 注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「 警告」の欄に記載しています。しかし、「 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか又は物的損害の発生が想定される場合。

●図記号について

	 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は回転物注意）が描かれています。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

据付け上の注意事項

 警告	●据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼してください。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因となります。	
	●据付けは、重量に十分耐えるところに確実に行ってください。 強度不足や据付けが不完全な場合は、ユニットの転倒、落下などによりケガの原因になります。	 強度の不十分な個所への据付け禁止
 注意	●D種接地工事以上のアースを接続してください。 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	 アースを確実に取付ける
	●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行なわないでください。 万一ガスが漏れますと、発火の原因になることがあります。	 可燃性ガスの漏れる恐れのある所に据付けない

使用上の注意事項

CF、CFL形

- 前板（「3. 各部の名称」参照）を外したままファンを運転しないでください。
高速回転するファンロータに手が触れて怪我をする恐れがあります。



前板を
外したままの運転禁止

- 電源プラグの抜き差しによりファンコイルユニットの運転や停止をしないでください。
感電や火災の原因になります。



- 長期ご使用にならないときは、安全の為、電源プラグをコンセントから抜いてください。
ホコリが溜って発熱・発火の原因になることがあります。



長期間使わないときは
電源プラグを抜く

- 電源プラグは、定期的にはこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
感電や発熱・火災の原因になります。



- 電源コードは、破損したり、加工しないでください。感電・火災の原因になります。
電源コードは、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損の原因になります。

全機種

- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因となる場合があります。



濡れた手でスイッチを
操作しない

- ガスの臭いがするときなど、ガスが漏れていると思えるときは、スイッチを操作しないでください。
ファンコイルユニットを運転しているときは、スイッチを切らないでください。ファンコイルユニットを運転していないときは、スイッチを入れないでください。ガス漏れのときに、スイッチ操作をすると、引火・爆発の恐れがあります。（窓を開けるなどの方法で換気してください）



ガス漏れのときは
スイッチを操作しない

- 空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れないでください。
内部でファンが高速回転しておりますので怪我の原因になります。



ケガのおそれあり
指など入れないこと

- ファンコイルユニットの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



風の当たるところに
燃焼器具を置かない

- 万一異常が発生したら、スイッチをすぐ切ってください
ご使用中にもし具合が悪くなったり、異常を生じたりしたときは、そのままお使いにならず、ただちにスイッチを「切」にし、お買い上げいただいた、販売店、工事店、又は指定サービス会社に、機種名、不具合の状況などをご連絡ください。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



異常のときは
すぐに運転を止める

- 燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



燃焼器具と一緒に運転
するときは、よく換気
する

次ページへつづく

使用上の注意事項（つづき）

全機種	
! 警告	●ユニットの吹出し口付近などに衣類を掛けたり、ぶら下げたりして使用しないでください。 過熱や火災の原因になることがあります。  ユニットに衣類などを掛けない
	●ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。 ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。  感電のおそれあり ユニットの上に花瓶など載せないこと
	●ファンコイルユニットを改造しないでください。 感電・火災等の原因になります。  改造・分解禁止
	●お手入れの際、足場はしっかりとしたものを使用してください。 転倒、障害の原因になります。
	●掃除をする時は必ずスイッチを「OFF」にし、元電源を切ってから行ってください。 内部でファンが高速回転しておりますので怪我の原因になることがあります。
	●ファンコイルユニットの内部や、コイル部分等の清掃を行うときは、必ず手袋（軍手など厚手のもの）をはめて行ってください。 素手で行うと、見えないところで怪我をする恐れがあります。  掃除のときは手袋をはめること
! 注意	●モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。 故障、感電などの原因になります。  スイッチなど電気部品は水に濡らさないこと
	●長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。 体調悪化・健康障害の原因になります。  冷風を直接、体に当てない
	●動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。 動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。  動植物に直接、風をあてない
	●水質基準に適合した冷水・温水を使用してください (社)日本冷凍空調工業会ガイドライン：JRA GL-02-1994「冷凍空調機器用水質ガイドライン」の「冷水」及び「温水」に準じた水質の水を使用してください。 水質管理不良は、コイル等に腐食を生じ、水漏れの原因となることがあります。  水質基準に適合した冷水・温水を使用する
	●ファンコイルユニット及び風量調整スイッチ近くで引火物を使わないでください。 引火の危険があります。
	●コイルには触れないでください。 怪我をすることがあります。
! 警告	●ファンコイルユニット及び風量調整スイッチ近くで引火物を使わないでください。 引火の危険があります。

お手入れのときの注意事項

CF、CFL形	
! 警告	●電源プラグを抜く時は、プラグを持って行ってください。 ツイストロック式プラグの場合は、プラグを持って左に回してから抜いてください。コードを引っ張ると、芯線の一部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。  プラグを抜くときはコードを引っ張らない

お手入れのときの注意事項（つづき）

CF、CFL形

- 電源プラグは定期的にほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根本まで確実に差し込んでください。

ツイストロック式プラグの場合は、差し込んだ後、プラグを右に回してロックしてください。

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



プラグは確実に
根本まで差し込む

全機種

- お手入れのときにはスイッチを「切」にしてください

電源コード・プラグ付きの機種の場合は、電源プラグもコンセントから抜いてください。スイッチを入れたままですと、内部で高速回転しているファンロータに手が触れて、けがをする原因になります。



お手入れのときは
スイッチを切る

- 機器の電装ボックスを開けないでください

電装ボックスの内部には、電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理は、お買い上げの販売店、工事店又は指定サービス会社にご相談ください。



感電のおそれあり
ボックスを開けないこと

- ファンコイルユニットの内部や、コイル部分などの清掃を行うときは、必ず手袋（軍手など厚手のもの）をはめて行ってください。

素手で行うと、見えないところで怪我をする恐れがあります。



清掃のときは厚手の
長手袋をはめる

- モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。故障、感電などの原因になります。



スイッチなど電機部品は
水に濡らさない

- ファンコイルユニットに、水やお湯、洗剤やカビ取り剤などをかけたり、吹き付けたりしないでください。

故障、感電、漏電の原因になります。



ユニットに水などを
直接かけない

- ベンジン、シンナーで拭いたり、殺虫剤をかけないでください。

感電・引火の恐れがあります。



ベンジン・殺虫剤
などかけない

- この機器を修理・改造しないでください。

修理は、お買い上げの販売店、工事店又は指定サービス会社にご相談ください。修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

修理に不備があると感電・火災等の原因になります。



専門技術者以外の
修理・分解禁止



警告

修理時の注意事項

全機種

- 異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して元電源を切り、お買い上げの販売店又は弊社指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。

- 修理は、お買上の販売店・工事店又は、メーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

修理に不備があると感電・火災等の原因になります。



専門技術者以外の
修理・分解禁止



警告

2. 上手にお使いいただくために

窓および出入口は開けたままにしない

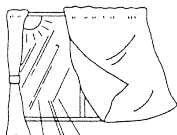
- 運転効率が悪くなります。ファンコイルユニットの結露の原因になります。



(換気にも十分注意してください。)

窓には、カーテンまたはブラインドを

直射日光をふせぎ、冷房効果が良くなります。



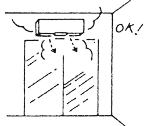
冷房中は発熱器具をできるだけ使わない

冷房効果が弱くなります。露付き、落下の原因になります。



天井に熱い空気がこもる場合は、サーキュレータのご使用を

快適性が向上します。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。



吸込口・吹出口のまわりに物を置かない

部屋の隅々まで空気を循環させるため、空気吸込口・吹出口の近くに物を置かないでください。

二週間に一回はエアフィルタを掃除してください



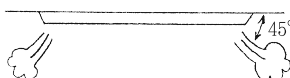
エアフィルタがほこりでつまると冷房や暖房の効果が下がります。

水質基準に適した冷水、温水を使用してください

水質の悪化はコイル等に腐食を生じ、水漏れの原因となることがあります。

天井面の汚れが目立つときは、風を少し下向きに

水平より45° 下向きがおすすめです。



凍結に注意してください

- 外気温度が0℃以下になると外部配管や機器内コイルのパイプが破損することがあります。
- ボイラを低ノッチにして連続運転して温水を循環させてください。

本体にのらないでください (CF、CFL形)

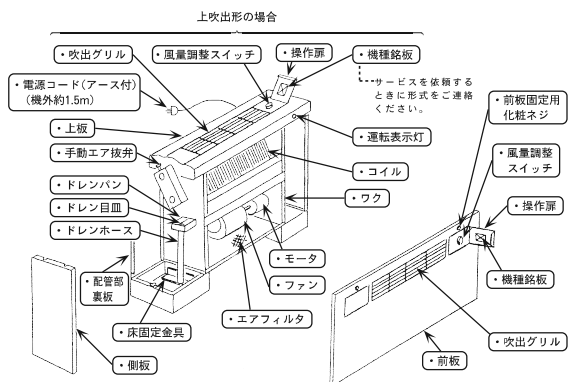
ファンコイルユニットの上ののったり腰かけたりしないでください。変形による故障の原因になります。重量物を乗せないでください。

ファン停止時の結露に注意してください

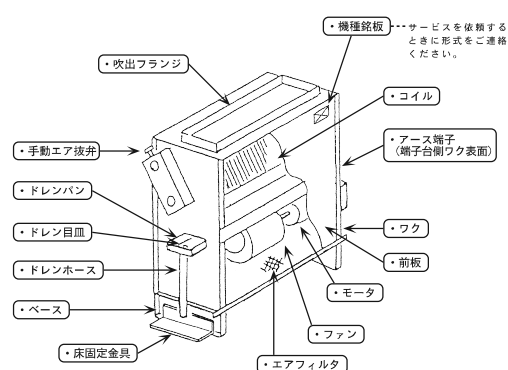
冷水を温水して送風運転をしない場合、露が付きますので、水入口バルブをしめて通水を止めてください。

3. 各部の名称

CF形

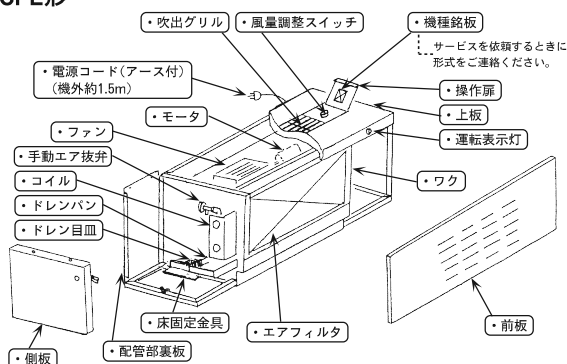


CFR形

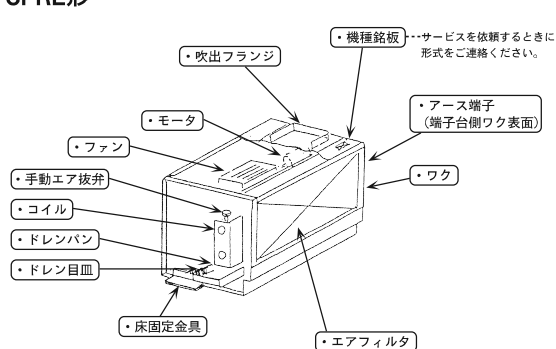


3. 各部の名称 (つづき)

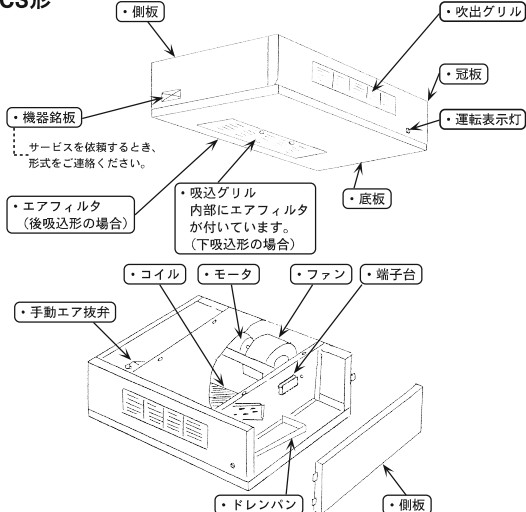
CFL形



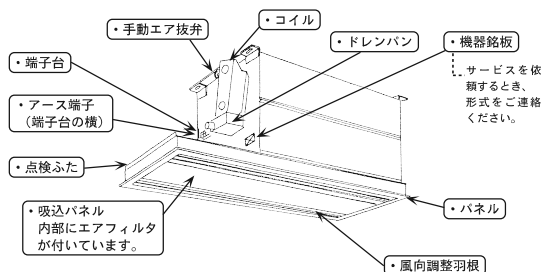
CFRL形



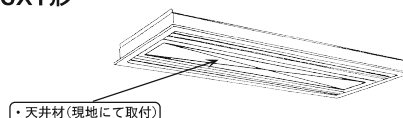
CS形



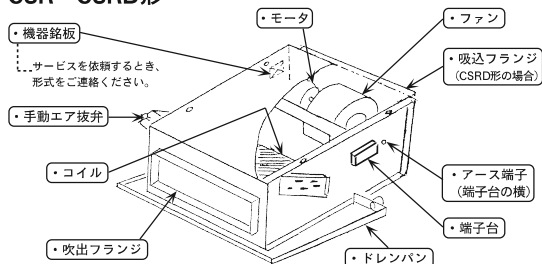
CSR-CX形 CSR-CXM形



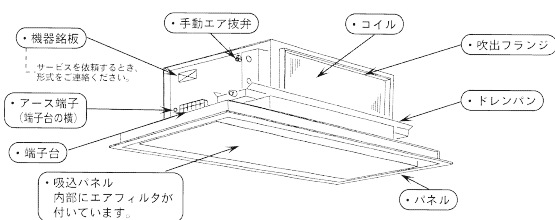
CSR-CXE形 CSR-CXT形



CSR・CSR形

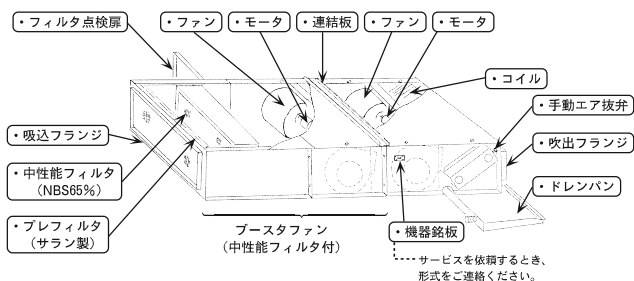


CSBR形

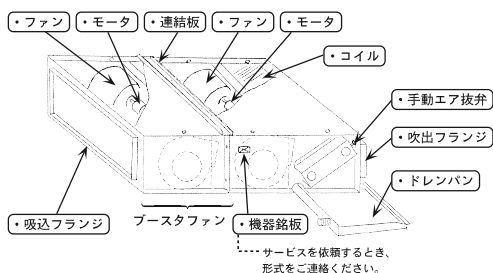


CSBF形

・中性性能フィルタ組込形



・フィルタ不付形



4. 運転のしかた

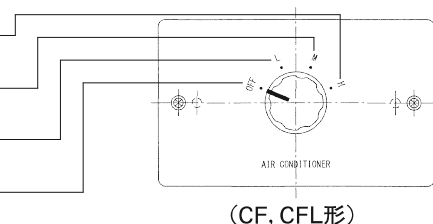
風量調整スイッチ は下図のようになっています。

H：この位置に回すと風が最も強くなり、冷房（または暖房）の効果が最大となります。

M：この位置に回すと“強”“弱”の中間の風になります。

L：この位置に回すと風が弱くなり、音の静かな運転をします。

OFF：この位置に回すと停止します。



(CF, CFL形)

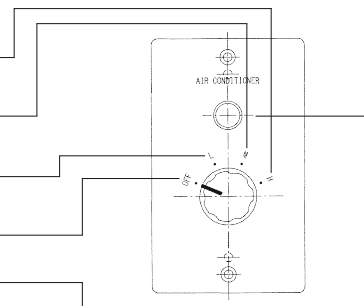
H：この位置に回すと風が最も強くなり、冷房（または暖房）の効果が最大となります。

M：この位置に回すと“強”“弱”の中間の風になります。

L：この位置に回すと風が弱くなり、音の静かな運転をします。

OFF：この位置に回すと停止します。

H（強）、M（中）、L（弱）の位置に回すと点灯します。



運転操作



- ① 冷水又は温水がファンコイルユニットに通水されている事を確認してください。
- ② 風量調整スイッチによりファンコイルユニットを運転してください。
冷水又は温水の熱源の操作については、お買い上げ頂いた販売店又は工事業者にお問い合わせください。

風向の調整

・CF、CS形



注意

吹出グリルを外して、機内に手を入れないでください。
コイルのフィン部で怪我をすることがあります。

・CFL形

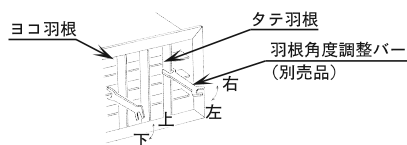


注意

吹出グリルを外して、機内に手を入れないでください。
高速回転するファンロータに手が触れて怪我をする恐れがあります。

・CFR、CFRL、CSR、CSRD、CSBF形

吹出VHグリル（別売品）の風向調整

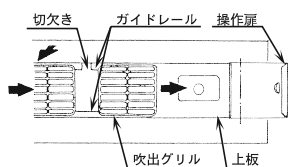


・タテ羽根、ヨコ羽根を矢印の方向に回転させ風向きを調整してください。羽根角度調整バー（別売品）を使用すると便利です。

下図要領で吹出グリルを取外し、上下左右お好みの風向きに変更してください。

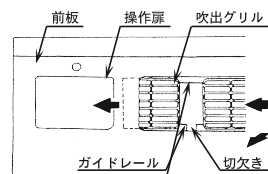
CF（上吹出）形、CFL形 吹出グリルの風向調整

- ① 左右操作扉のいずれかを片方を開きます。
- ② 吹出グリルを操作扉側へスライドしますと下図のガイドレールの切欠き部から外せます。



CF（前吹出）形 吹出グリルの風向調整

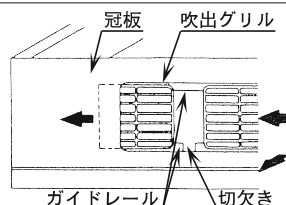
両端左右いずれかの吹出グリルを操作扉側へスライドしますと下図のガイドレールの切欠き部から外せます。



4. 運転のしかた（つづき）

CS形 吹出グリの風向調整

吹出グリは冠板のガイドレールにはめ込んでいます。両端の吹出グリを左右、いずれかの方向へスライドしますと右図のようにガイドレールの切欠き部から取外しますので、上下左右お好みの風向に変更してください。



CSR-CX形・CSR-CXM形・CSR-CXE形・CSR-CXT形

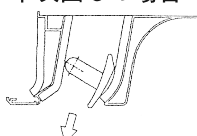
風向の調整

- パネル吹出口取付けの風向調整羽根を下図の様に動かして風向きを調整してください。

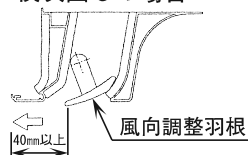
斜吹出しの場合



下吹出しの場合



横吹出しの場合



注意

風向調整羽根を全閉にてご使用にならないでください。本体結露、ドレン水飛散の原因となります。

5. お手入れ



警告

お手入れのときには、必ずファンコイルユニットの元電源を切ってください。
お手入れのときは、高い場所での作業となりますので安全に十分お気を付けてください。（CF、CFR、CFL、CFRL形は除く）お手入れのときは、手袋をはめて行ってください。



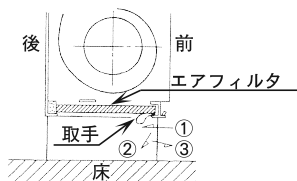
掃除のときは手袋をはめること

エアフィルタの掃除

- ①エアフィルタを外してください。

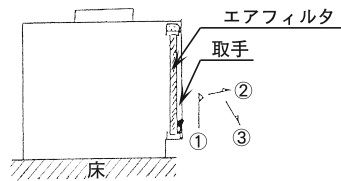
・CF、CFR形

下図の様にエアフィルタの取手をもって①→②→③の手順にて本体から取外してください。



・CFRL形

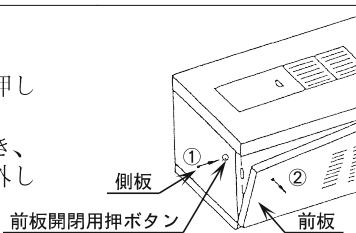
下図の様にエアフィルタの取手をもって①→②→③の手順にて本体から取外してください。



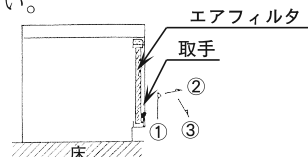
・CFL形

前板の外し方

- ①側板のボタンを押してください。
- ②側板を手前に引き、上へ持ちあげて外してください。



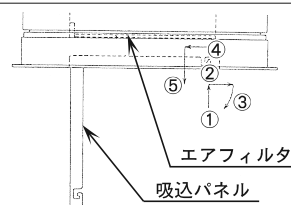
下図の様にエアフィルタの取手をもって①→②→③の手順にて本体から取外してください。



5. お手入れ（つづき）

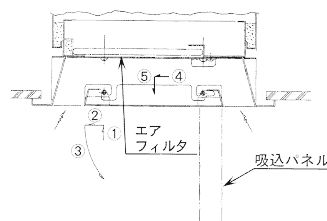
• CSR-CX、CXM、CXE、CXT形

吸込パネルは右図に示すように、①②③の手順にて開きます。
内部にエアフィルタがありますので、④⑤の手順にて、本体
から取外してください。



• CSBR形

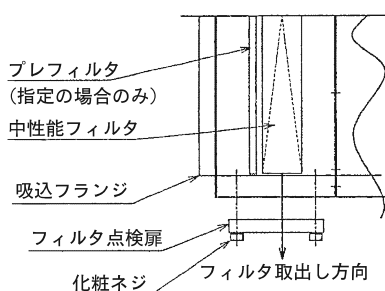
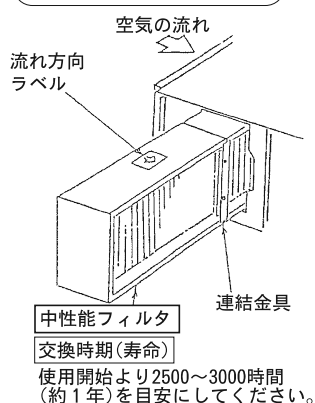
吸込パネルは右図に示すように、①②③の手順にて開きます。
内部にエアフィルタがありますので、④⑤の手順にて、本体
から取外してください。



• CSBF形

・中性能フィルタ組込形

中性能フィルタの交換

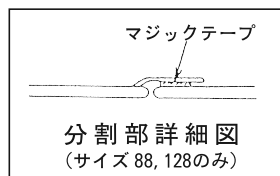
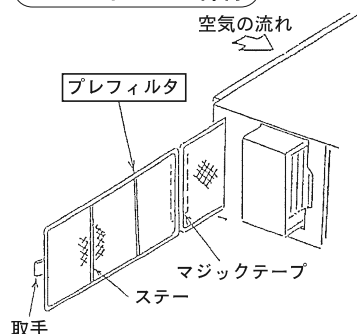


分割部詳細図
(サイズ 88, 128のみ)

〈手順〉

- ①フィルタ点検扉を開いて中性能フィルタを引き出してください。
- ②新品フィルタと交換してください。
- ③流れ方向をご確認のうえ、フィルタを挿入してください。
(88, 128形の場合は2分割となっていますので、片方のフィルタに連結金具を取付後に、挿入してください。)
- ④フィルタ取付後、点検扉を閉じてください。

プレフィルタの掃除

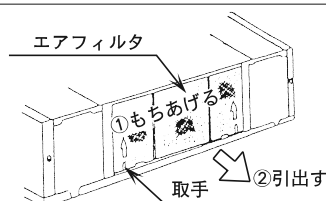


〈手順〉

- ①プレフィルタを引き出してください。
- ②フィルタの掃除を行なってください。
- ③ステーが風下側になるように、プレフィルタを挿入してください。
(88, 128形の場合は2分割となっていますので、マジックテープで連結し、挿入してください。)

• CS形（後吸込形）

右図の様にエアフィルタの取手をもって、
①→②の手順にて本体から取外してください。

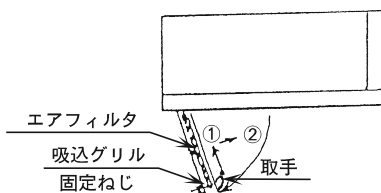


5. お手入れ (つづき)

●CS形 (下吸込形)

吸込グリル固定ねじをゆるめ、吸込グリルを開いてください。

右図の様にエアフィルタの取手をもって①→②の手順にて本体から取外してください。

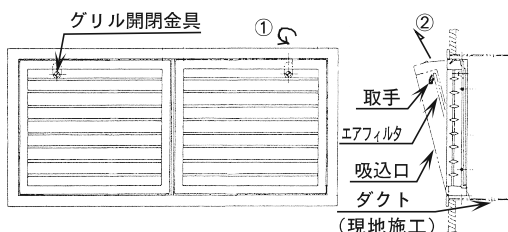


●CSR形、CSBF形 (フィルタ不付形)

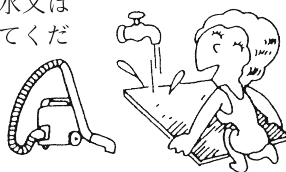
グリル開閉金具を⊖ドライバーにて左側へ90° 回し、吸込口を開いてください。

右図の様にエアフィルタの取手をもって上へ取出してください。

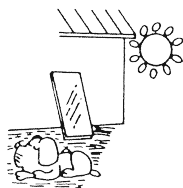
吸込Hグリル (別売品)



- ②エアフィルタの汚れを電気掃除機で落とすか、水又は中性洗剤で洗い流してください。



- ③エアフィルタの乾燥は日陰で行ってください。熱を使うと変形することがあります。乾いたら必ず元通り入れてください。



吹出グリル・吸込グリル・外板・風量調整スイッチの掃除

柔らかい布を使って、ぬるま湯でふいてください。ベンジン、シンナ、クレンザなどは使わないでください。



《シーズンの始めに》装置全体の水配管内に入っている空気を抜いてください。

- コイル及び水配管内に空気がたまっていると水の流れる音が大きくなりますので、下記のとおりエア抜きを行ってください。
- ドレンパンの汚れがひどくなりますと、ドレン排水をさまたげ衛生上良くありませんので、下記のとおりドレンパンの掃除を行ってください。

●CF、CFR、CFL、CFRL形

1. 配管側の操作扉を開いてください。
2. 手動エア抜きを開きエアを抜いてください。手動エア抜きは6、7ページに図示する位置にあります。

※エア抜きの際は、前板も開いて、水の出具合を確認しながら行ってください。いきおいよく水が噴きだして、床面をぬらすことがあります。

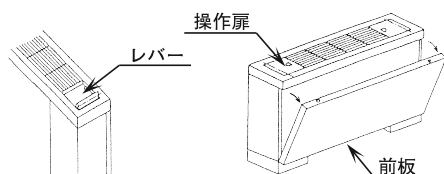
1. 前板を取外してください。
(ローボイ型はエアフィルタも取外してください。)
2. ドレンパンおよびドレン目皿の掃除を行ってください。
ドレンパン・ドレン目皿は6、7ページに図示する位置にあります。

- CFR、CFRL形の化粧カバーは現地施工となっています。開き方等は、販売店にご確認ください。

5. お手入れ (つづき)

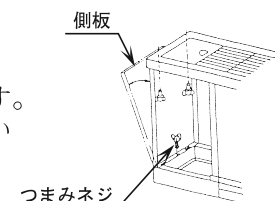
CF (上吹出) 形前板の開き方

左右の操作扉を開き、前方に内蔵されているレバーを引き上げて前板を開きます。



側板の外し方

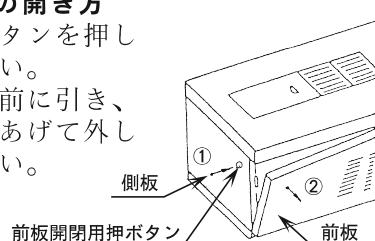
- 下のつまみネジ 1本を外します。
- 上のつまみネジ 2本をゆるめます。
- 側板を外側に開いて、取外します。



※CF(前吹出)形の場合は前面の化粧ネジを外して開きます。

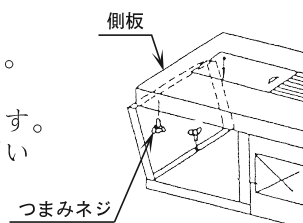
CFL形前板の開き方

- ①側板のボタンを押してください。
- ②前板を手前に引き、上へ持ちあげて外してください。



側板の外し方

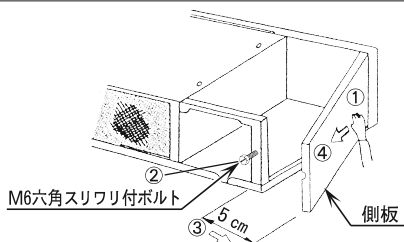
- 下のつまみネジ 1本を外します。
- 上のつまみネジ 2本をゆるめます。
- 側板を外側に開いて取外します。



● CS形

◦ 側板の取外し方法

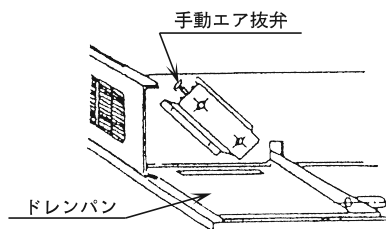
- ①側板を片手で押えてください。
- ②後部の固定用ボルトをゆるめてください。
- ③両手で側板を約5 cm開きます。
- ④後方に引くと本体から取外できます。



◦ 手動エア抜弁を開きエアを抜いてください。

※エア抜きの際は、水の出具合を確認しながら行ってください。

いきおいよく水が噴き出して、床面をぬらすことがあります。

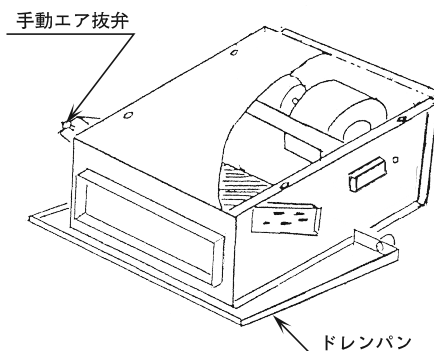


● CSR・CSR D形

◦ 手動エア抜弁を開きエアを抜いてください。

※エア抜きの際は、水の出具合を確認しながら行ってください。

いきおいよく水が噴き出して、天井面をぬらすことがあります。



5. お手入れ (つづき)

• CSR-CX、CXM、CXE、CXT形

吸込パネルを開けてください。

パネルの点検ふたを開けてください。

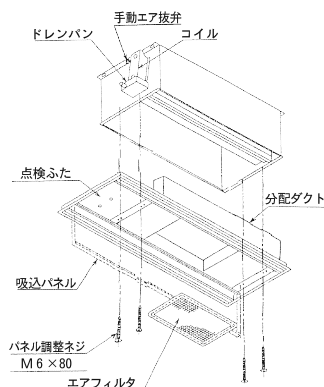
(点検ふたは点検口にかぶせてあります。持ち上げて外し、天井内に置きます。点検後は元通りにふたをしてください。)

点検口より手動エア抜弁を開きエアを抜いてください。

※エア抜きの際は水の出具合を確認しながら行ってください。いきおいよく水が噴き出して、天井面をぬらすことがあります。

パネル調整ネジ 4 本を外し、パネル全体を天井から外してください。

ドレンパン内部を掃除してください。



• CSBR形

吸込パネルを開けてください。

パネルの点検ふたを開けてください。

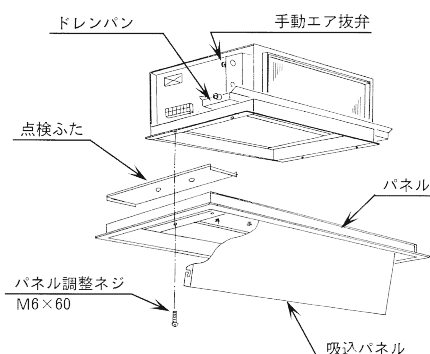
(点検ふたは点検口にかぶせてあります。持ち上げて外し、天井内に置きます。点検後は元通りにふたをしてください。)

点検口より手動エア抜弁を開きエアを抜いてください。

※エア抜きの際は水の出具合を確認しながら行ってください。いきおいよく水が噴き出して、天井面をぬらすことがあります。

パネル調整ネジ 4 本を外し、パネル全体を天井から外してください。

ドレンパン内部を掃除してください。

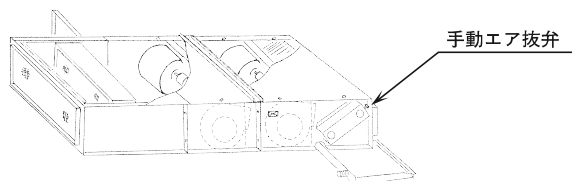


• CSBF形

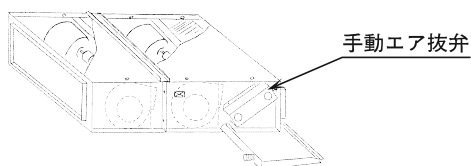
・手動エア抜弁を開きエアを抜いてください。

※エア抜きの際は、水の出具合を確認しながら行ってください。
いきおいよく水が噴き出して、天井面をぬらすことがあります。

・ 中性能フィルタ組込形



・ フィルタ不付形



6. 故障かなと思ったら

修理を依頼される前にお調べください。



警告

感電の危険がありますので、電気部品の操作部以外には手を触れないでください。
万一電気部品を点検するときは、必ず運転スイッチを停止にし、全ての電源を切ってください。

症 状	調 べ る と こ ろ	運 転 を 再 開 す る と き
運 転 し な い	電源は入っていますか。	電源を入れてください。
	風量調整スイッチがOFFになっていませんか。	風量調整スイッチを入れてください。
よく冷えない よく暖まらない	エアフィルタが目づまりしていませんか。	エアフィルタを掃除してください。
	空気吸込口や吹出口がふさがっていませんか。	障害物を除去してください。
	冷水又は温水が循環していますか。	循環ポンプ及び熱源を運転してください。
	部屋の窓や戸が開いていませんか。	窓や戸を閉めてください。
異 音 が す る	コイル内に空気が溜まってシュルシュルという音がしていませんか。	(P-6、7 による手動エア抜弁を開けて空気を抜いてください。

以上のことをお調べの上、それでも不都合の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

このとき、製品の形式（銘板位置 6、7 ページ記載）も併せ、ご連絡ください。

なお、次の場合も異常ではありません。



①暖房運転開始時または停止した時ミシッという音がする場合があります。

これは樹脂部品などが温度変化で膨張し、相手部分とこすれるためで、性能上特に問題はありません。

②冷房運転中、ファンコイルユニットの吸込空気の温度がおよそ27℃、相対湿度80%程度を超える高温度の雰囲気にて長時間運転されますと、本体外板やパネルへの結露や水滴が滴下する場合があります。

③空気中の煙草のけむり、化粧品、その他いろいろの臭いがファンコイルユニットに付着しますと、ファンコイルユニットから吹き出す風が臭うことがあります。

このような時には、エアフィルタ、外装の掃除や、送風運転にして換気を十分行ってからご使用になると効果がある場合があります。

④飲食店、厨房等で使用される揚げ油の油脂類がフィンに多量に付着しますと熱交換が悪くなり、露を発生することがあります。

現状では、フィンに油脂類が付着しないよう油脂類の吸着性の良いフィレドンフィルタを使用することが最も効果的です。このような場所でご使用の際は、フィレドンフィルタの取付けをお薦めします。

7. 消耗部品及び定期交換部品

部 品 区 分	部 品 名	部 品 耐 用 年 数
送 風 機	モータ	8 年
	コンデンサ	8 年
空 気 ろ 過 器	サランフィルタ	5 年
	フィレドンフィルタ	1 年

1. 機器の運転時間は、頻繁は発停のない通常の使用状態で、10時間／日、3000時間／年とした場合です。運転状況や用途、用法により異なります。
2. 部品耐用年数は、予防保全を行っていただいた場合の目安の期間を示し、消耗部品及び定期交換部品の保障年数を意味するものではありません。
3. 機器全体の更新年数は、15年を目安としています。

8. アフターサービスについて

1. 保証
保証期間 —— ご購入から1年間です。
なお、補償範囲には二次補償は含まれません。
2. 保証期間中に修理を依頼されるとき。
「故障かなと思ったら」の項にしたがって調べていただき、なお正しく運転しないときは、必ず運転スイッチおよび元電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。保証事項に基づきお買い上げの販売店が修理いたします。
3. 保証期間が過ぎて、修理を依頼されるとき。
お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間について
補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切り後9年間となっています。
当社はこの基準により補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は、有償で修理させていただきます。
なお、補修用性能部品とは、性能維持のために必要な部品です。

(連絡していただきたい内容)

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・形式・ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご依頼日

お 客 様 メ モ

後日のため記入しておいてください。サービスを依頼するときお役に立ちます。

お 買 い 上 げ
いただいた販売店

電 話

購入年月日： 年 月 日

昭和鉄工株式会社

■製造元

●本 社 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6390／FAX：(092)933-6395

■販売部門

●東京支店 〒210-0806 川崎市川崎区中島二丁目2-7
TEL：(044)244-9723／FAX：(044)244-9727

●大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座二丁目2-18
TEL：(06)6578-2411／FAX：(06)6578-2413

●九州支店 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6304／FAX：(092)933-6319

●札幌営業所 〒061-3244 北海道石狩市新港南一丁目22-37
TEL：(0133)64-3676／FAX：(0133)64-2369

●仙台営業所 〒982-0012 仙台市太白区長町南四丁目1-20
TEL：(022)246-7401／FAX：(022)246-7404

●北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町三丁目537-1
TEL：(048)660-3781／FAX：(048)660-3782

●名古屋営業所 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目9-29
TEL：(052)961-1733／FAX：(052)951-0339

●広島営業所 〒732-0057 広島市東区二葉の里一丁目1-72
TEL：(082)264-2155／FAX：(082)264-2156

●下関営業所 〒758-0832 山口県下関市生野町一丁目4-7
TEL：(083)252-6116／FAX：(083)252-6045

●南九州営業所 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上二丁目28-4
TEL：(096)331-5560／FAX：(096)331-5565

■サービス部門 機器の保守点検整備等についてのご相談、異常時には下記へ連絡ください。

●東京支店 〒210-0806 川崎市川崎区中島二丁目2-7
TEL：(044)244-9722／FAX：(044)244-9725

●大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座二丁目2-18
TEL：(06)6578-2412／FAX：(06)6578-2413

●九州支店 〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町宇美3351-8
TEL：(092)933-6333／FAX：(092)933-6374

●札幌営業所 〒061-3244 北海道石狩市新港南一丁目22-37
TEL：(0133)64-3676／FAX：(0133)64-2369

●仙台営業所 〒982-0012 仙台市太白区長町南四丁目1-20
TEL：(022)246-7403／FAX：(022)246-7404

●北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町三丁目537-1
TEL：(048)660-3781／FAX：(048)660-3782

●名古屋営業所 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目9-29
TEL：(052)961-1735／FAX：(052)951-0339

●広島営業所 〒732-0057 広島市東区二葉の里一丁目1-72
TEL：(082)264-2155／FAX：(082)264-2156

●下関営業所 〒758-0832 山口県下関市生野町一丁目4-7
TEL：(083)252-6116／FAX：(083)252-6045

●南九州営業所 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上二丁目28-4
TEL：(096)331-5560／FAX：(096)331-5565

サービス店